

平成 20 年第 2 回 建築士と学ぶすまいスクール
夏休み企画！！「驚き・発見！木とアート」報告

日 時：平成 20 年 7 月 27 日（日）13:30～16:00

会 場：竹中大工道具館（神戸市中央区）

参加者：小学生以下の子供 16 人 + 保護者 16 名

講師・スタッフ：兵庫県建築士会神戸支部

情報企画委員会の 5 名

内 容：第 1 部 クイズと実験で学ぶ木の知識

第 2 部 木のアートを作ろう

情報企画委員会では、今までにも親子で参加いただく事業は開催していたのですが、「夏休み」期間中の親子参加事業としては初企画となりました。準備期間があまりなかった中で、スタッフは木に関するクイズ作成と実験準備に工夫を凝らし、木のアート作品の材料調達に走り回りました。子供時代に戻ったように楽しくイキキと。集めた材料は枯れた木の枝や葉、松ぼっくり、家具作りの端材など、一見ゴミにしか見えないので「捨てないでください」なんて張り紙を貼ってすまいるネットに保管していただきました。

本番当日。事業に先立ち、竹中大工道具館学芸部長渡邊様に、展示してある松や檜やクリその他たくさんの種類の木の現物や鋸などの大工道具を前に説明いただきました。第 1 部のクイズではそれを利用していただき、説明をよく聞いていた子がいて、しっかりクイズに答えていました。いくつかの実験もまじえて、今は理由はわからなくても、とにかく木のすばらしさをしっかり目に焼き付け、覚えておいて欲しいという願いを込めた木の知識を伝える第 1 部は終了しました。

第 2 部は、アートに挑戦の時間です。子供達はブルーシートを敷いた床の上に座り込んで作品作りに挑戦しました。会場の中央に材料を入れた箱を並べて置き、そこから気に入った材料を選び、すぐに貼る作業をする子もあれば、思案の長い子もいます。最初から作業に協力する親もいれば、何も言わずに見てるだけの親もいます。スタッフは鋸を使う手伝いをしたり、電動工具で穴開けをしたりして作業を応援しました。どの子も工夫を凝らして一生懸命。終盤になると、どことも親子で仕上げに必死です。アート作りに 75 分とったのですが、誰一人として集中力を欠くことなく、また親子の絆も深まったようです。

出来上がった作品は、一人ずつ皆さんの前で披露し、どんなところを工夫したかを発表していただき、最後に作品と共に撮った写真を貼った「木の博士認定証」を授与しました。どの子も得意満面の笑顔だったのに加え、スタッフ一同にとっても時間を忘れ、年齢を忘れ、楽



展示品の前で説明を聞く



重りを載せた実験



しい体験をさせていただけた一日となりました。

最後に、会場を提供下さった竹中大工道具館、荷物運びや会場設営や写真撮影その他諸々に全面的にご協力いただきましたすまいるネットの皆様へ、心よりお礼申し上げます。 (K・T記)

作品の一部をご紹介します

